

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 98 事業名 人間ドック事業

【事業基本情報】

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	国民健康保険事業特別会計		
	款	保健事業費		
	項	保健事業費		
	目	保健事業費		
	大事業	保健事業		
事項	人間ドック事業			

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
○			

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	4	社会保障制度の充実
施策	1	社会保障制度の充実
取組	2	国民健康保険制度の適正な運営

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	H20	~ H25
事業実施の根拠法令	国民健康保険法第82条	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	国保年金課	(435-1057)
関連課		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	40～74歳の被保険者を対象に、疾病を早期発見・早期治療し健康の保持増進を図る。	特定健康診査を含む総合健康診断（人間ドック）の受診を希望する方に対し、人間ドックの費用の一部22,000円（特定健診分10,500円、人間ドック分11,500円）を補助する事業である。対象者全員に特定健診の受診券を同封した案内通知を送付し、特定健診と合わせた形で人間ドックを周知案内している。実施医療機関は市内51か所あり、受診の際は、受診券と保険証を持参する。検査は保険診療適用外であるため、医療機関によって検査料金は異なるが、受診者は所得に関係なく補助額を差し引いた金額を自己負担金として支払う。医療機関は、請求書と共に検査結果データ・人間ドック申請書等を添えて市へ提出し、それらを確認した上で、人数分の補助金を支払う。必須検査項目は、特定健診項目プラス腹部超音波・胸部レントゲン・胃バリウムまたはカメラ検査・便潜血検査・血液検査（免疫・膵臓機能等）・視力検査である。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		和歌山市の医療機関に委託し、人間ドックを実施する。	和歌山市の医療機関に委託し、人間ドックを実施する。	和歌山市の医療機関に委託し、人間ドックを実施する。	和歌山市の医療機関に委託し、人間ドックを実施する。	和歌山市の医療機関に委託し、人間ドックを実施する。

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	42,013	45,149	44,456	33,494	46,008	33,806	46,008	36,117	46,000	
伸び率 (%)	-	-	5.8%		3.5%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	3,124	3,291	3,124	2,309	3,124	2,284	2,283	1,887	1,857
	非常勤職員	637		637		637	605	605	1,045	1,045
	小計	3,761	3,291	3,761	2,309	3,761	2,889	2,888	2,932	2,902
国庫支出金										
県支出金	6,400	8,000	6,400	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	
市債										
その他	35,613	37,149	38,056	25,494	38,008	25,806	38,008	28,117	38,000	
一般財源（税等）										
所要人数	常勤職員	0.41	0.41	0.41	0.31	0.41	0.3	0.3	0.25	0.25
	非常勤職員	0.34		0.34		0.34	0.24	0.24	0.57	0.57
主な予算内訳	人間ドック補助金46,000千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
活動指標	受診券送付数				年度目標値						
					実績値	75,969	74,850	75,564	75,170	74,438	
	単位	通	全体目標値	100	全体目標達成度						
			年度別達成度								
成果指標	ドック受診者数				年度目標値	2,800	4,000	4,000	4,000	3,500	
					実績値	3,010	2,918	2,950	3,148		
	単位	人	全体目標値	3500	全体目標達成度	89.9%	年度別達成度	107.5%	73.0%	73.8%	78.7%
			年度別達成度								
		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性(担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	平成22年度から特定健康診査を無料化し検査内容を充実させたため、人間ドックは受診者の増加が横ばいとなり、受診者数がほぼ一定化している。ただし、がん検診を含めた総合的な健診であるため、被保険者のニーズは依然として高く、結果としても、疾病の早期発見・早期治療につながり、中長期的に医療費適正化に寄与する。ここ3年間、同様の内容で事業を進め一定の成果を上げているため、今後も、継続して本事業を実施していく。
「見直し」 「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	